



学校だより 6月 第379号

令和4年5月27日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

自由な発想で

副校長

5月のある休み時間、その日は雨が降っていたので、子どもたちがどのように過ごしているのか知りたくて、校内を回ってみました。

低学年のある教室では、iPad のアプリを使用して、大半の子どもが漢字の学習に取り組んでいました。画面に出てくる漢字をなぞり書きしたり、正しい読み方を選んだりしながら、どんどんレベルアップしていく内容のようで、5年生の漢字にチャレンジしている子もいました。

中学年の教室をのぞくと、「先生、これ、プレゼント」と言って、手作りの紙袋を渡されました。袋には「おいしいポップコーン」と書いてあり、中には折り紙で作ったおいしそうなキャラメルポップコーンがいくつも入っていました！ 振るとカリカリした音がするのがまた、本物っぽくてワクワクしました。

高学年の教室では、数人の男子が iPad に向かってなにやら絵を描いています。なぜお絵かきかと思って尋ねると、ロイロノートの機能を使って、パラパラ漫画のようなものを作成しているとのこと。なるほど私たちがノートのはじを使ってやっていたのと同じような遊びが、iPad 上でもできるのかと、感心すると同時に、子どもたちは iPad を「文房具」の一つとしてとらえ、場面に合わせて使用しているのだなど、感心しながら職員室に戻りました。

学校は、子どもたちが満足できるような遊び道具がそろっている場所ではありません。特にここ数年はコロナ禍ということもあり、私たち大人が小学生だったころと比べても、学校生活には多くの制限がかかっています。そんな中でも子どもたちは、与えられた条件の中で知恵をしばり、発想力豊かに自分たちで遊びを見出している姿に感動し、とても嬉しい気持ちにもなりました。

これからの時代を生き抜く子どもたちにとって、発想力(=アイデアを生み出す力)はとても大切なものになってきます。その発想力は、制約が多いほど鍛えられるのだそうです。コロナは子どもたちの学校生活に様々な制約を与えました。しかしその制約は「発想力を鍛える」という点から考えると、意義深いことだったのかもしれない。

休み時間の過ごし方は、子どもによって様々です。でもそこには子どもたちの自由な発想があり、子どもたちは日々の学校生活の中でどんどん力をつけている。そんなことに気付いた雨の一日でした。

梅雨の時期になると、子どもたちが校舎内で過ごすことも増えますが、また、子どもたちの遊びの様子をのぞきに行ってみようと思います。



【マスク着用について】

学校では、新型コロナウイルス感染症対策として引き続き、マスクの着用を推奨しているところですが、この度「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」の改定に伴い、教育委員会より熱中症への対応を優先させることが求められました。六つ川西小学校でも、人との距離や会話について子どもたちに指導した上で、これからの季節、体育の授業中や登下校中にマスクを外すことを指導致します。

子どもたちが登下校中にマスクを外すことがありますので、ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い致します。